

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	100	100	0	0
実績	82	80	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度計画していた修繕箇所については、学校と施行時期を調整しながら実施することができた。突発的な修繕箇所については、各学校予備費計上分にて対処し、コスト縮減など、適正な執行を図ることができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	学校施設の維持管理は、子ども達の安全を守るためにも必要不可欠なものである。「長寿命化計画」を策定して今後の維持管理を計画的に行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題